**建設工事追い込み期労働災害防止運動 取組中 !**

**（令和５年10月1日～12月31日）**



**Safety First !　『安全は何よりも優先する』**

**安 全 宣 言**



**労働災害防止のため　私達はこうします！**

《工事現場ごとの安全宣言を記入します。》

《社長、会社、事業場が定めた安全衛生基本方針を記入します。》

**会　社　名**

**代　表　者**

**現場代理人**

**建設工事追い込み期労働災害防止運動実施要綱（抜粋）**

建設業における８月末現在（速報値）の死亡者数は前年同期に比べ７人減少の３人、死傷者数については前年同期に比べ21人増加の503人となっています。このように、本年の建設業における死亡労働災害は減少しているものの、例年追い込み期に当たる10月から12月に死傷労働災害は増加する傾向にあります。また、同時期の過去５年間の死亡者数を都道府県労働局別で比較すると、北海道が突出している状況にあります。

　そのため、これから迎える建設工事の追い込み期に、墜落・転落災害、重機等災害、崩壊・倒壊災害、交通労働災害、急性中毒、火災の各防止対策を重点実施事項として、本年度も「建設工事追い込み期労働災害防止運動」を展開します。

　なお、10月25日から10月31日までを「**建設安全週間**」と定め、この期間に「建設工事パトロール点検表」を使用した「建設工事パトロール」の実施等に取り組みます。

１　取組期間：令和５年10月１日～12月31日(建設安全週間：10月25日～10月31日)

２　主唱者：厚生労働省北海道労働局及び各労働基準監督署（支署）

３　協賛者：建設工事発注機関連絡協議会、建設業労働災害防止協会北海道支部、一般社団法人北海道建設業協会

一般社団法人日本建設業連合会北海道支部、建設産業専門団体北海道地区連合会、一般社団法人北海道建築工事業

組合連合会、職業訓練法人札幌市建築業組合、一般社団法人日本ツーバイフォー建築協会、一般社団法人プレハブ

建築協会、公益社団法人建設荷役車両安全技術協会北海道支部、一般社団法人日本道路建設業協会北海道支部、

一般社団法人北海道舗装事業協会

４　実施者：建設業関係各事業場（工事現場）

**運動期間中に事業場取り組むべき内容（重点実施事項等）**

交通労働災害防止対策

墜落・転落災害防止対策

ア 路面状況にあった安全な速度での走行

イ 工事現場における第三者車両からの被害防止

(ｱ) 第三者車両への「工事中」注意喚起標識の設置

(ｲ) 交通誘導者の配置

(ｳ) バリケードの設置

ウ 交通労働災害防止のためのガイドラインの遵守

エ 交通ヒヤリマップを作成し、安全運転教育に活用

オ 運転者の運転業務以外の業務の軽減

カ 過労運転の防止

キ 停車時における逸走防止のため「輪止め」及び

「サイドブレーキ等」の確実な措置

ア リスクアセスメントの実施

イ 開口部の養生、危険箇所の表示

ウ 作業床の設置、手すり及び中さん等の設置

エ 手すり先行工法等の「より安全な措置」の採用

オ 作業主任者の選任、職務の励行

カ 防網の設置、要求性能墜落制止用器具の取付設備

の設置

キ 要求性能墜落制止用器具の使用

重機災害防止対策

ア 車両系建設機械

(ｱ) 作業計画の作成

（種類及び能力、運行経路、作業方法）

(ｲ) 立入禁止区域の明確化

(ｳ) 誘導者の配置による転落・接触防止

(ｴ) 主たる用途以外の使用制限

イ 移動式クレーン

(ｱ) 作業計画の作成（作業方法、転倒防止、労働者の配置及び指揮の系統）

(ｲ) 過負荷の制限

(ｳ) アウトリガーの最大張出

(ｴ) 適正な玉掛用具の使用

(ｵ) 安全装置の有効使用

急性中毒等予防対策

ア 一酸化炭素

(ｱ) 屋内での内燃機関及び練炭コンロ等の使用禁止

(ｲ) やむを得ず屋内で内燃機関及び練炭コンロ等

を使用する場合、

・随時測定、監視（作業開始前、作業中等）

・リスクアセスメントの実施

イ 有機溶剤

(ｱ) 換気装置の使用

(ｲ) 送気マスク、防毒マスクの使用

(ｳ) ＳＤＳ（安全データーシート）を活用したリス

クアセスメントの実施

ウ 酸欠・硫化水素

(ｱ) 作業開始前の酸素濃度及び硫化水素濃度の測定

(ｲ) 作業場所の酸素濃度を18％以上、硫化水素濃度

を10ppm以下となるよう換気

(ｳ) 作業主任者の選任、職務の励行

(ｴ) 安全衛生教育の実施

(ｵ) 元請事業者の下請事業者に対する指導援助

崩壊・倒壊災害防止対策

ア 土砂崩壊

(ｱ) 安定勾配の確保又は土止支保工の設置

(ｲ) 作業開始前の地山の点検

(ｳ) 作業主任者の直接指揮

(ｴ) 作業手順に基づく安全作業

(ｵ) 現場責任者による巡視・点検の励行

イ 構築物・仮設物等の倒壊

(ｱ) 作業計画の作成

(ｲ) 作業手順の確立

(ｳ) 避難場所の確保

(ｴ) 作業構台・足場の最大積載荷重の表示と周知

火災防止対策

ア 火気の取扱い管理の徹底

イ 易燃性のものの近傍での火気の使用禁止

「リーフレット」及び「実施要項」全文は北海道労働局のホームページからダウンロード出来ます。

【掲載場所】ホーム＞労働災害防止＞業種別の労働災害防止について＞建設業の労働災害防止対策等について

(R5.９)

**建設工事追い込み期労働災害防止運動**

**令和５年10月１日～12月31日（建設安全週間10月25日～10月31日）**



**STOP!労働災害**

**リスクアセスメントを実施しよう！**

（人）

建設業における月別死傷者数の推移

（平成30年～令和４年）

建設業における月別死亡災害発生状況

（平成30年～令和４年）





建設業における事故の型別労働災害発生状況

(平成30年～令和４年）

建設業における都道府県労働局別死亡災害発生状況

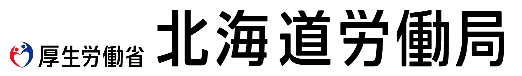
平成30年～令和４年**（各年10月～12月）**



**建設業関係各事業場（工事現場）の皆様には、次の事項の取組の徹底をお願いします。**

* **墜落・転落災害防止対策**
* **重機災害防止対策（車両系建設機械、移動式クレーン）**
* **崩壊・倒壊災害防止対策（土砂崩壊、構築物・仮設物等の倒壊）**
* **交通労働災害防止対策**
* **急性中毒等予防対策（一酸化炭素、有機溶剤、酸欠・硫化水素）**
* **火災防止対策**

**重点実施事項**



**･ 労働基準監督署（支署）**